

1 貧困をなくそう

2 飢餓をゼロに

11 住み続けられるまちづくりを

15 陸の豊かさも守ろう

# 雑草と里山の 科学教育研究センター 地域資源開発部門

講師

閻 美芳

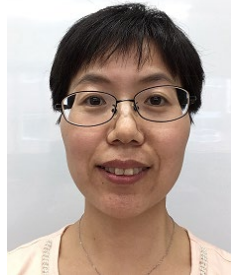
**分野** 農村社会学・環境社会学

**研究テーマ** ・農家の価値づけに基づいた農山村のコミュニティ形成  
・中国農民の農村都市化政策への対応とコミュニティ形成  
・有機農業と中山間地域の新たな価値づけ

**キーワード** Iターン者の新規参入と有機農業  
中国の農村都市化政策とプロジェクト移民  
中山間地域におけるコミュニティ形成

**所属学会等** 日本社会学会、環境社会学会、村落研究学会

**特記事項** 日本と中国の中山間地域に寝泊まりして、参与観察と聞き取り調査に基づく実証研究ができます。



URL: <http://agri.mine.utsunomiya-u.ac.jp/about/08-08-08.html>  
Mail: yanmifang [at] cc.utsunomiya-u.ac.jp

TEL: 028-649-5150  
FAX: 028-649-5155

## 研究概要

日本と中国の中山間地域に足を運び、社会学の手法を用いて、グリーン・ツーリズム（中国では農家楽）、有機農業、農村都市化、プロジェクト移民などをテーマに、研究を行っています。周知のように、日本と中国は「一衣帯水」（日中両国が親しい近隣）と言われながら、近年、政治的な情勢に左右されることもあり、むしろ相互理解が進む一方です。ところが、日本と中国の中山間地域で聞き取り調査を重ねると、次のことに気付くようになります。つまりは、日本の庶民には「相身互い」（あいみたがい）の思想があり、同じように、中国には「体情（ティーチン）」（相手に心を寄せて、相手の立場にたって考える）の思想があります。お互いに、政治体制や直面する社会問題（日本の限界集落問題、中国の農村都市化問題）に相違があるものの、生活意識の根底に相通じるものがあるのも事実です。日本と中国の農民がどのように降りかかってくる生活課題に果敢に立ち向かっているのか。彼らの生活意識の根底に降りていくように、今後とも、聞き取り調査を重ねていくつもりです。



北京郊外山村の農家楽

## 教育・研究活動の紹介 (特徴と強み等)

日本と中国の中山間地域で寝泊まりして、聞き取り調査に基づいて実証研究をできます。中国だけではなく、日本の中山間の地域でも、日本語で聞き取り調査を実施できます。

## 今後の展望

中国の農民を団地に移転させる農村都市化政策のように、政策を策定する側が、良かれと思って推進する政策がかえって当の農民を苦しませてしまうことがあります。実際現場に行き、現地の人びとがどうしたいのかを把握することは、より現地の人びとのための政策を作る際の参考にもなります。住民のための政策づくりを志向する自治体などと協力できるかと思えます。

## 社会貢献等 (社会活動 特許等取得状況 産学連携・技術移転の対応等)

学生と一緒に中山間地域に足を運び、学生の目線で地域の“良き”資源を見つける取り組みをしています。他方、過疎高齢化が進む中山間地域からは、若い大学生が来るだけで元気をもらえるとの声をいただいています。これからも学生と一緒に、中山間地域の力となる活動に取り込んでいきます。